

鋼板屋根に新しい息吹をふきこむ
窯変調意匠塗装鋼板

ニスクカラー **テラコット**



鋼板屋根に新しい息吹をふきこむ最新 ニスクカラー **テラコット**

耐摩技術と意匠の融合、 窯変調を塗装鋼板で表現

耐摩耗性鋼板のパイオニアである当社の、実績ある耐摩技術と新しい塗装技術の融合により生まれた全く新しいタイプの極低光沢窯変調塗装鋼板で、特許を取得しています。塗装鋼板の優れた性能をフルに発揮し、美しいグラデーションを形成、住宅屋根のトレンドとなっている南欧風の窯変調屋根を金属屋根で実現します。

エパ-ル-7かわらや**エパ-ル-7**横葺シリーズをはじめ多様な成形商品の原板としてお使いいただけます。



テラコッタ



信頼の耐摩技術と鋼板初の窯変調の意匠

特長

1 塗装鋼板による 美しい窯変調の意匠

業界初の美しい素焼調の外観。最新塗装技術を駆使した複数塗料の塗装により、南欧風の窯変調屋根の意匠を実現しました。

2 ガラス繊維による 塗膜強化技術で優れた耐久性

極低光沢特殊ポリエステル樹脂にガラス繊維を混入し、塗膜を強化。長年培われた当社独自の耐摩技術により、優れた耐久性を発揮します。

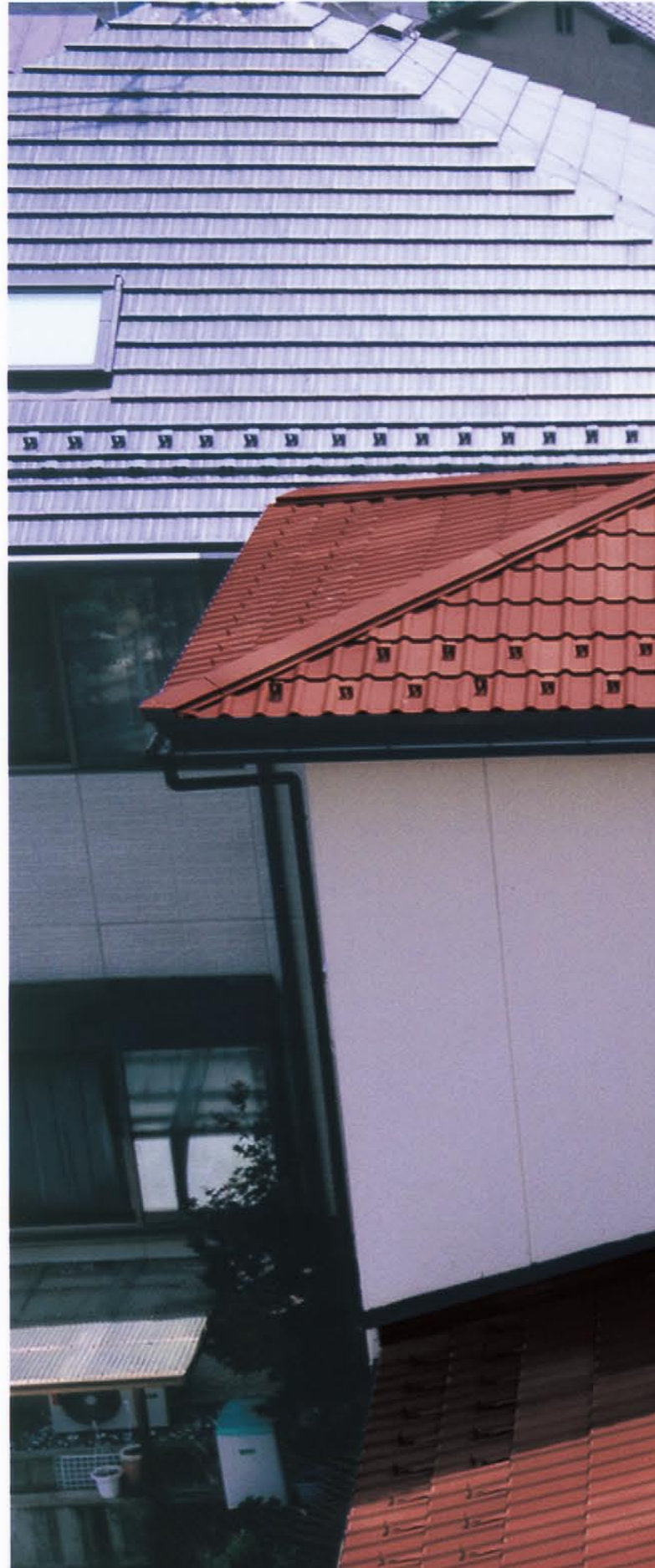
3 ガルバリウム鋼板ベース で抜群の耐食性

原板は、ガルバリウム鋼板を使用しているため、耐食性に優れています。長期にわたって高品質を保持、メンテナンスに有利です。

4 充実した保証制度

実績あるガルバリウム鋼板ベースの塗装鋼板として、10年の塗膜保証を実施しています。

※保証については当社の定める保証条件があります。

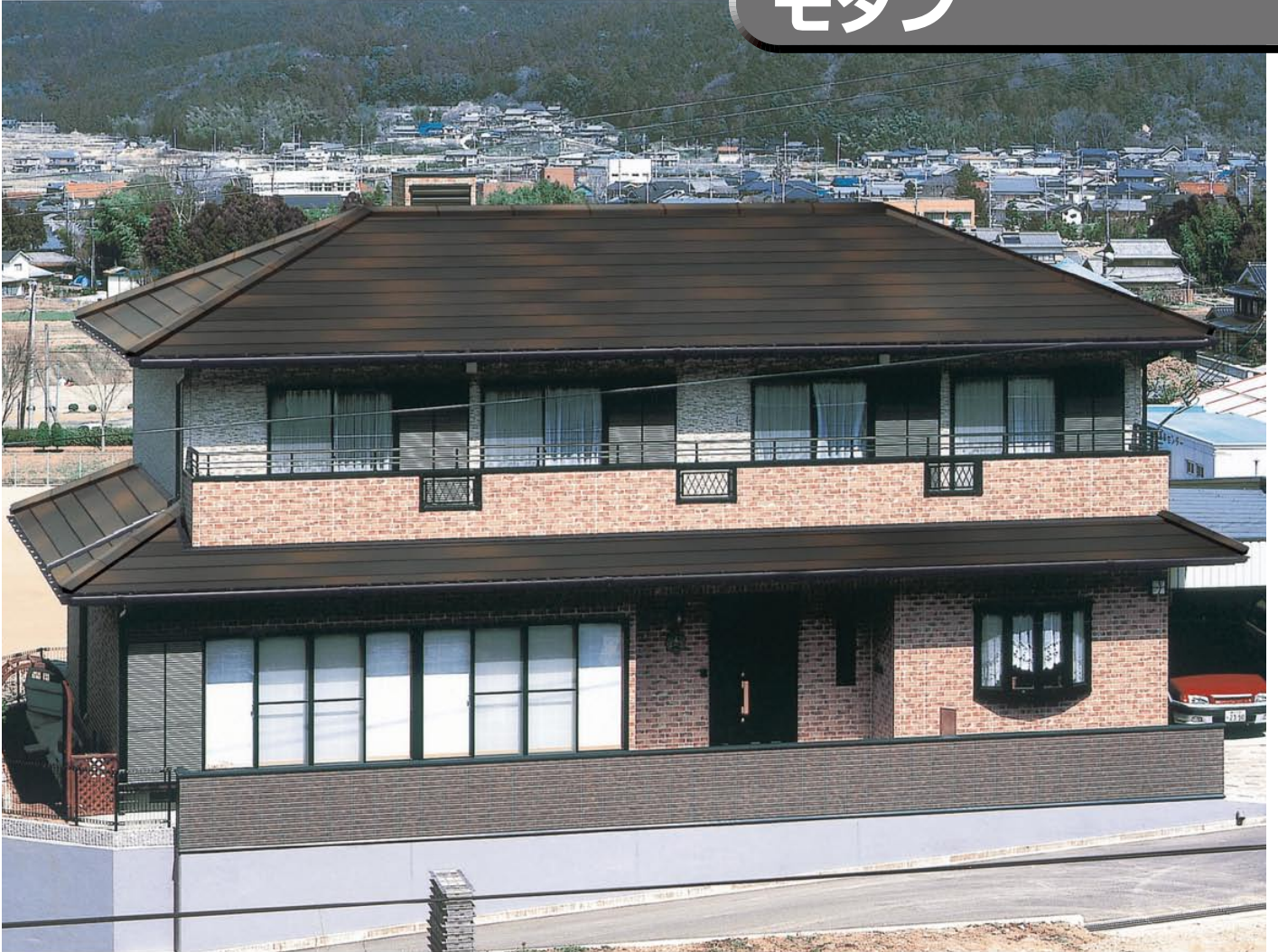


ブリック



落ち着きに気品を加えた窯変調の趣

モダン



NEW
COLOR



イバル-7 かわら



イバル-7 横葺1型

テラコットを原板とした **イバル-7 横葺1型**・**イバル-7 かわら**の、色彩イメージです。
ただし、実際の建築物の仕上がりでは、イメージと異なって見える場合があります。

標準仕様

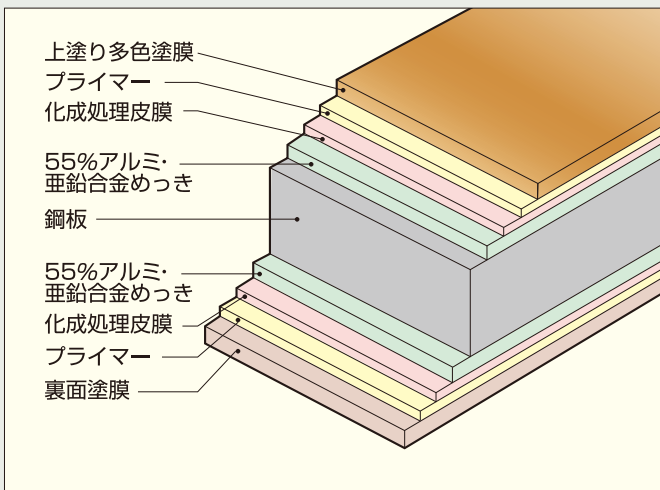
項目	種類	Tシリーズ
		ニスカカラー テラコット
製品形状	コイル	
原板の種類	ガルバリウム鋼板 (55%アルミ亜鉛合金めっき鋼板)	
製造可能板厚	0.35mm~0.8mm	
標準在庫幅	板厚0.35mm及び0.4mm	
幅	610mm~1,000mm	
コイル単位質量	max 3トン	
めっき付着量	AZ150 (200g/m ²)	

注) その他の製品仕様については別途ご相談ください。

塗膜物性

特性		ニスカカラー テラコット
原板及び塗料系		ガルバリウム鋼板 ガラス繊維強化型ポリエステル塗料
光沢	60°鏡面光沢度	0.5~3.0
塗膜硬度	鉛筆硬度(JIS G 3312)	4H~5H
折り曲げ試験	20℃	OT剥離なし
耐候性	実曝露試験 (尼崎8年、ベース塗膜部)	ΔE=1.5以下、GR=50%
	サンシャインウェザーメーター (83℃、3000時間)	ΔE=1以下、GR=38%

断面構成



使用上のご注意

1.運搬

製品の運搬や倉庫及び施工現場での搬入、搬出の際は、ワイヤーロープを直接掛けないでください。

2.保管

屋内で梱包をしたままの状態でご保管ください。もし、やむを得ず野積みをする場合は、直接地面に置くことのないようにし、防水シート掛けをして長時間にならないようにしてください。もし、水濡れした場合は、速やかに成形し、乾燥させてください。成形品をきっちり積み重ねたまま水濡れさせることも禁物です。

3.取扱方法

鋼板同士を過度に擦り合わせると **ニスカカラー テラコット** の表面塗膜が硬いので、裏面塗膜が表面にとられ汚れとなりますのでご注意ください。また、地面の上や凹凸のある所を引きずったり、鋼板や尖った金具、鋭利な刃物を当てて疵やすり疵を入れないでください。

4.補修

万一誤って疵がついた場合は、専用補修塗料で補修してください。

5.成形加工

ベンダー加工、ロールフォーミング、プレス成形などの加工を行う場合、加工部の塗膜が剥離しないよう緩やかな加工Rになるようご注意ください。また、寒冷時での加工は、加温加工を推奨します。

6.取付け金具

取付け金具には、ステンレス(SUS304)製のボルト、ビス、リベット、釘などをご使用ください。

7.屋根勾配

屋根に施工する場合、水溜まり箇所ができないように屋根勾配にご注意ください。

8.下葦材との接合

防腐剤等で処理された木材または合板は、めっき鋼板及び塗装鋼板の耐食性に影響する場合がありますので、直接木材または合板に接触する部分(軒先、けらば、棟包み、雨押え、降り棟、谷部等)には絶縁用下葦材(ルーフィング材又はプチルテープなど)で防錆して下さい。

9.施工上の注意

成形品を屋根上にのせる場合、すべり落ちることがないように、すべり止めなどの処置をしてください。